

平成29年度 半期・年度 事業評価書

評価対象期間	平成29年4月～平成30年3月分
施設名	鳥取市菅片原駐車場
指定管理者名	株式会社 大幸電設
指定管理期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
施設所管課名	都市環境課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	書類、聞取	日誌、点検表などで整理・保存を行っている。
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	聞取 現地確認	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	聞取	OJTを基本とした研修体制が確立されており、社員は別に本社での研修期間が確保されている。
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞取、書類	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	聞取 現地確認	
6 減免対象者は、適切に減免しているか			聞取	減免対象者なし。
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	4	4	聞取、書類 現地確認	周辺地域の防災訓練、町内会会合の場所提供、砂丘清掃活動参加等の従来から行ってきた地域貢献に加え、地域のPR動画の放映等、新たな取り組みも開始している。
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	聞取、書類 現地確認	施設で満足度調査の実施・公表を行い、要望の検討を適宜行っている一方で、アンケート調査の母数が少ないことが課題である。
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	2	聞取、書類 現地確認	冬季の積雪に対する屋上閉鎖の対応が課題として挙げられる。可能な限り除雪等を行い、1台でも多く駐車スペースを確保すべきである。
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	4	4	聞取、書類 現地確認	リアルタイム満空情報の配信を開始、駐車場情報を記載したポケットティッシュの配布を行う等の新たな取組みを開始した。
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	聞取、書類 現地確認	仕様書に沿って適切に行われている。
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	4	4	聞取、書類 現地確認	比較的大きな改修工事は、必要に応じて計画的に行われ、事前・事後報告がなされている。また軽微なものについては、日常点検段階から修繕や工夫を行っており、積極的な施設の維持管理に努めている。
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞取 現地確認	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞取、書類 現地確認	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	聞取、書類 現地確認	
III. 施設の経営状況				
16 事業収支は妥当であるか	4	4	聞取、書類	月4000台前後の利用があり、安定した収入となっている。また、サービス券の売上げが大幅に増加し、全体的な収益としては前年度を上回る黒字となっている。
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	聞取、書類	経費節減のため、29年度と30年度にかけて、電気設備を節電効果のあるLEDへと改修している。
IV. 法令等の遵守状況				
18 個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	聞取、書類	個人情報は基本的には残さない方針であり、個人情報の処理について手順が具体化されている。
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞取	
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	聞取	
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	聞取、書類	

確認する内容	指定管理者	施設所管課			
	自己評価	評価	確認方法	備考	
V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	聞取 HP確認	HPでの駐車場情報公開を行っている。また、今年度から駐車場満空情報サイトを用いて満空情報のリアルタイム配信を行っている。
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	3	聞取、書類 現地確認	
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	聞取、書類	
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か	3	3	書類 現地確認	
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	聞取、書類	

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	利用台数は前年度に比べて微減したものの、売上はサービス券販売売上の増加を大きな要因として増加しております。経費は人件費率が前年50.5%から本年46.8%と削減でき、外部委託費、利用者あたりの管理コストも昨年と同等を維持しているため、経営状況は良好と考えます。
施設所管課	冊券売上げの大幅増加、諸経費の節減などにより、年度当初の計画および平成28年度と比較しても黒字幅が増加しており、施設の経営状況は問題ないと判断する。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	レンタサイクル事業では、ホームページによる情報配信により県外からの利用者の認知度が向上していると感じます。コミュニティホール事業は、地域活動での利用、休憩所としての利用が定着してきており、観光PR映像や写真展示を引き続き継続いたします。次年度はアンケートでご意見いただいたWi-Fiの導入を検討し、より気軽にホールをご利用いただける様にしたいと思います。
施設所管課	レンタサイクル事業は、今年度は80台と年度当初の目標台数(120台)には届かなかったものの、前年度の実績(57台)を上回っており、今後もPR方法を工夫することで、利用者増を狙うことができると考える。コミュニティホール事業は、これまでの地域活動・休憩所としての場所提供に加え、周辺地域のPR動画の放映と写真展示を開始し、駐車場利用者が地域に関心を寄せるような取組みを行っている。

4. 総括コメント

指定管理者	利用者の拡大策として行ったホームページでの情報配信の効果により、特に秋の県東部地区のイベントでは県外の利用者に認知・利用いただけたと思います。引き続き観光客を取り込める様、各所と連携した利用者拡大策を打っていきたく考えます。また、経費削減策として年度末に場内車路の照明をLEDに改修し、前年度比約10%の電気使用量削減の見込みです。次年度は他の箇所もLED化することで、更に光熱費の節減を図ります。次年度は市庁舎の移転を見据えた現在の利用者の動向調査を行い、市庁舎移転後も安定した経営が行える様準備したいと思います。
施設所管課	日常点検や清掃、建物設備の改修、自主事業等の通常の駐車場運営は円滑に行われていると考える。また今年度は、HPでの満空情報配信、ポケットティッシュの配布による駐車場宣伝、周辺地域のPR動画の放映等、新規の取組みを積極的に行った。今後もこうした取組みの継続に加え、駐車場の認知度向上や利用促進につながる新たな取組みを積極的に行い、駐車場利用を促進する取組みを行っていただきたい。

※記入について

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている
確認方法 (施設所管課のみ)	書類確認、聞き取り、現地(館内)確認、実態確認等	
備考	評価区分が3以外である理由やその他の特記事項	